

## 【第14章 第2節】「私をととえと」解説

### 1. 目的

友人や自分の人物像やその人の感じ方を話し合う（自己開示・傾聴・他者受容）ことで、自己を新たな視点で見つめ直し相互理解を深めることが目的です。学校で用いる場合は、1学期の初旬か中旬頃に行い、友達をよく見つめ互いの良さや違いを確認しあい、友情の輪を広げていくきっかけにすると良いでしょう。また、進路学習の中で行うのも、自分を見つめ直すきっかけとなります。

### 2. ワークを行う際の留意点

- ① 形と自分がどれにあっているかにとらわれず、形をきっかけにして自由に自分を語ることに重点を置くようにします。相手の意見をよく聴き、メンバー同士自由に意見が言えるような雰囲気をグループの中で作ることが大切です。
- ② 互いに自分の選んだ形とイメージを話し合った後、それぞれのメンバーが1つの形についてもつイメージを話し合います。話し合いが早く終了した場合は、自分が思う相手の図形について話し合います。